

火山性地震は少なく、火山性微動も少ない状態で推移した。

GPS 連続観測では、2008 年 9 月以降新岳火口浅部の膨張を示す変化が観測されていたが、2009 年 2 月以降鈍化し、6 月に入り認められなくなった。

諏訪之瀬島 (29°38'18"N, 129°42'50"E (御岳))

小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火は 32 回発生した。8 月 27 日 22 時 00 分に、噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生した。翌 28 日に京都大学及び気象庁機動調査班 (JMA-MOT) が鹿児島県の協力により行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が堆積しているのを確認した。地震活動は、B 型地震がやや多い状態で推移した。

(お知らせ) 最新の火山活動解説資料は気象庁ホームページの以下のアドレスに掲載しています。

URL http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

(文責：気象庁地震火山部火山課 飯野英樹)

○特任助教公募

【東工大地震惑 新学術領域「地殻流体」】

- 募集人員：特任助教，1 名
任期，2014 年 3 月 31 日まで
専門分野，地殻流体 (実験)
- 高温高压実験に基づいて沈み込み変動に果たす地殻流体の役割を研究する方。鉱物物性，マグマ学，火山学のいずれかに関係する研究者を歓迎します。なお，採用後は地球惑星科学専攻の一員として関連分野の大学院・学教育にも携わって頂きます。
- 実験装置・分析装置の維持運用に積極的に取り組んで頂ける方。
- 応募資格：博士の学位を有する者
- 着任時期：採用決定後，できるだけ早い時期を希望します。
- 提出書類：
 - 履歴書
 - 研究・教育に関する実績と今後の計画・抱負 (A4 一枚以内)
 - 研究業績リスト
 - 査読付き原著論文
 - プロシーディングス，総説など
 - 著書，その他特記すべき出版物

(注) A, B, C いずれも和文のものは和文名で表記すること。

- 主な原著論文の別刷 (コピー可) 2 編以内
- 応募者について参考意見をうかがえる方 (2 名) の氏名および連絡先 (所属, E-mail)
- 応募書類は返却いたしません。こちらで責任を持って処分させていただきます。
- 応募締め切り：2009 年 9 月 17 日 (木) 必着「宅配便」にて送付願います。
- 応募書類の送付先：

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1
東京工業大学 大学院理工学研究所
地球惑星科学専攻 (I2-20)
石川台 2 号館 209 号室気付 高橋栄一
Tel : 03-5734-2339
- 問い合わせ先：高橋栄一
E-mail : etakahas@geo.titech.ac.jp
Tel : 03-5734-2338
- 新学術領域研究「地殻流体」の詳細は次のホームページをご覧ください。
<http://www.geofluids.titech.ac.jp/>
地球惑星科学専攻に関しては次のホームページをご覧ください。
<http://www.geo.titech.ac.jp>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 8 月 25 日送信しました)

○教員公募

【東京大学地震研究所】

- 公募人員：助教 1 名
- 所 属：アウトリーチ推進室
- 公募分野：地震火山情報学分野
当研究所における地震・火山研究に関した国内外の広報・アウトリーチ活動を主導的に推進するとともに，同活動の学術的裏付けとして地震火山情報学の研究を行い，大学院教育にも携わる。
- 応募資格：博士の学位を有する方。
- 採用時期：決定次第できるだけ早い時期
- 任期について：

本研究所の教員の任期に関する内規により，満 55 歳を越えることとなる者に 5 年以内の任期を定める。再任は本研究所教授会の承認を得た場合 1 回限り可。
- 提出書類：
 - 履歴書 (市販用紙可)
 - 業績リスト (論文の場合は査読の有無を区別すること。)
 - 主要な業績の複写 3 編程度
 - これまでの業績の概要 (A4 用紙 2 枚程度)

- (5) 当研究所の広報・アウトリーチ活動に関する構想 (A4用紙2枚程度)
- (6) 応募者について参考意見を述べられる方2名の氏名と連絡先。
8. 応募締切：
2009年11月2日(月)必着。封筒の表に「地震火山情報学助教 応募書類」と朱書きし、書留にて郵送すること。
9. 応募書類の提出先及び問い合わせ先：
(提出先) 〒113-0032 東京都文京区弥生1-1-1
東京大学地震研究所 事務部 人事係
(問合先) 同上
地震火山噴火予知研究推進センター 加藤照之
e-mail : teru@eri.u-tokyo.ac.jp TEL : 03-5841-5730
(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月27日送信しました)

○教員公募

【東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻】

1. 公募人員：准教授1名
2. 公募分野：固体地球進化およびその関連事象を物質科学的アプローチに重点をおいて研究する分野
3. 応募資格：博士の学位を有すること、また、学部および大学院の固体地球科学に関係する講義・実習を担当する能力と熱意を有すること
4. 着任時期：平成22年4月1日以降のなるべく早い時期
5. 応募方法：自薦もしくは他薦(他薦の場合は、ご本人が了解されていること)
6. 提出書類：
 - (a) 略歴書(学歴および職歴)
 - (b) これまでの研究教育業績の概要(1500字程度)
 - (c) 研究業績目録(査読論文とそれ以外の総説、著書などに分類)
 - (d) 主要論文5編以内の別刷(コピー可)
 - (e) 今後の研究計画および抱負(1500字程度)
 - (f) 今後の教育(学部および大学院)の抱負(1000字程度)
 - (g) 自薦の場合は、応募者に関して所見を伺える方2名の氏名および連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)
 - (h) 他薦の場合は、推薦書および上記事項(a)-(d)の概要がわかる書類
7. 応募・推薦の締め切り：平成21年11月9日(月)
8. 書類提出先：
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学 大学院理学系研究科

地球惑星科学専攻 事務室

(封筒に「固体地球進化教員応募書類在中」と朱書きし、郵便・宅配便の場合は配達記録の残る方法で送付のこと。特に要望がない限り、応募書類は返却いたしません。)

9. 問い合わせ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学
大学院理学系研究科 地球惑星科学専攻 小澤一仁
電話：03-5841-4561
電子メール：ozawa@eps.s.u-tokyo.ac.jp
※着任後、学部教育を兼任して頂くこととなります。
※本専攻の詳細は、<http://www.eps.s.u-tokyo.ac.jp/> をご覧下さい。
※東京大学大学院理学系研究科では、男女共同参画を積極的に推進しています。
詳しくは理学系研究科男女共同参画基本計画 <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html> をご覧下さい。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに9月18日送信しました)

○地球規模課題対応国際科学技術協力事業の公募

【JST 地球規模課題国際協力室】

JSTでは、「地球規模課題対応国際科学技術協力事業」における、平成22年度研究提案募集を平成21年9月9日(水)より開始いたしました。本事業では、環境・エネルギー、生物資源、防災、感染症等の地球規模課題について、JSTと独立行政法人国際協力機構(JICA)が連携して日本と開発途上国との国際共同研究を推進します。詳細は、下記のホームページ(随時更新)をご覧ください。

<http://www.jst.go.jp/global/koubo.html>
(公募要領のダウンロードが可能です。)

公募説明会を【関西地区】9月15日(火)、【関東地区】9月25日(金)の2箇所で開催しますので、奮ってご参加ください。

【関西地区】

日時：平成21年9月15日(火)午後2時～午後4時
会場：JICA 兵庫 ブリーフィングルーム
(兵庫県神戸市中央区協浜海岸通1-5-2)
<http://www.jica.go.jp/hyogo/office/access.html>

【関東地区】

日時：平成21年9月25日(金)午後2時～午後4時
会場：JST 東京本部 地下1階 JST ホール
(東京都千代田区四番町5番地3)
<http://www.jst.go.jp/global/ask.html>

● 今回の募集は「府省共通研究開発管理システム (e-Rad)」で行います。

e-Radの詳細については以下をご覧ください。提案者は研究者情報を2週間以上の余裕をもって登録ください。 <http://www.e-rad.go.jp/>

お問い合わせ先：JST 地球規模課題国際協力室

E-mail : global@jst.go.jp Tel : 03-5214-8085

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに9月14日送信しました)

○「情報・意見交換会」開催のご案内

【JAEA 東濃地科学センター】

・「平成21年度 東濃地科学センター 地層科学研究情報・意見交換会」

日時：平成21年10月27日(火) 12:30~17:00

場所：岐阜県瑞浪市地域交流センター「ときわ」

(定員：約150名)

・「瑞浪超深地層研究所 深度300m 水平坑道見学会」

日時：平成21年10月28日(水) 10:00~12:00

場所：瑞浪超深地層研究所(定員：約40名)

※ いずれも、申込者多数の場合は、先着順とさせていただきます。ご了承下さい。

※ 入場無料(事前の申込が必要です)

申込先

日本原子力研究開発機構 地層処分研究開発部門

結晶質岩工学技術開発グループ

「平成21年度 東濃地科学センター 地層科学研究情報・意見交換会」事務局

E-メールアドレス： tono-koukankai2009@jaea.go.jp

ホームページアドレス：

<http://www.jaea.go.jp/04/tono/index.htm>

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに8月27日送信しました)

○「海洋地球観測探査システム」フォーラム開催のお知らせ

【第4回国家基幹技術「海洋地球観測探査システム」フォーラム】

日時：平成21年11月4日(水) 13:00~17:00

場所：東京大学 鉄門記念講堂(定員280名)

東京都文京区本郷7-3-1(東京大学医学部教育研究棟14階)

主催：文部科学省、独立行政法人宇宙航空研究開発機構、独立行政法人海洋研究開発機構、東京大学

プログラム：司会 瀧澤美奈子(科学ジャーナリスト)

(1) 気候変動適応型社会の実現に向けて

特別講演

相澤益男(内閣府総合科学技術会議有識者議員)

(2) 地球環境を診断する基盤技術

海洋地球観測探査システムの概要

森本浩一(海洋地球観測探査システム推進本部長、文部科学省大臣官房審議官)

衛星観測監視技術

本間正修(宇宙航空研究開発機構理事)

次世代海洋探査技術等

平 朝彦(海洋研究開発機構理事)

データ統合・解析システム

小池俊雄(東京大学地球観測データ統合連携研究機構長、教授)

(3) 気候変動適応に向けた取組

藤田光一(国土技術政策総合研究所河川研究部 流域管理研究官)

小林睦生(国立感染症研究所昆虫医科学部 部長)

横沢正幸(農業環境技術研究所大気環境研究領域 上席研究員)

中川聞夫(国際協力機構地球環境部 部長)

(4) 気候変動に強い社会を目指して

モデレーター 沖 大幹(東京大学教授)

パネリスト 廣木謙三(内閣府政策統括官付参事官)、講演者一同

参加登録：参加費無料。以下のホームページからお申し込みください。

http://www.jamstec.go.jp/j/pr/event/key_tech_forum2009/

10月5日(月)より受付開始。定員に達し次第、受付締め切り。

【お問い合わせ先】

文部科学省 研究開発局 海洋地球課

地球・環境科学技術推進室

電話：03-5253-4111, FAX：03-6734-4147

E-Mail : kankyou@mext.go.jp

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに10月7日送信しました)

○国際ワークショップのお知らせ

火山災害の軽減に関する国際ワークショップ2009—大規模噴火(レベル4・5)時のクライシス・マネージメント—

WORKSHOP ON STRATEGY OF VOLCANIC DISASTER MITIGATION 2009—CRISIS MANAGEMENT IN BIG ERUPTIONS (LEVELS 4 AND 5)—

平成21年11月4日(水) 10:00-17:00

防災科学技術研究所
平成 21 年 11 月 6 日 (金) 09 : 30-15 : 00
山梨県環境科学研究所

(両日とも同時通訳付)

国内外の大規模噴火災害の事例から、噴火予測から情報伝達、避難、関係機関の連携など多面的な経験に学ぶとともに、現状の問題点を明らかにし、今後の課題や問題の改善に向けた方策について意見討論を行う。

主な講演者

Robert I. Tilling (元・米国地質調査所)
Daniel Miller (元・米国地質調査所)
Chris Newhall (シンガポール南洋工科大学)
John Ewert (米国地質調査所カスケード火山観測所)
Nathan Wood (米国地質調査所カスケード火山観測所)
太田一也 (九州大学名誉教授)
岡田 弘 (環境防災総合政策機構・北海道大学名誉教授)
斎藤 誠 (気象庁地震火山部・火山対策官) ほか

参加登録：電話・FAX・電子メールで事務局までご連絡下さい。

プログラム等詳細は下記の URL をご覧下さい。

<http://www.bosai.go.jp/> または

<http://www.yies.pref.yamanashi.jp/>

お問い合わせ先 (事務局) :

(独)防災科学技術研究所火山防災研究部

〒305-0006 茨城県つくば市天王台 3-1

Tel : 029-863-7537 Fax : 029-851-5658

E-mail : kazan-ws@bosai.go.jp

山梨県環境科学研究所

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1

Tel : 0555-72-6211 (代) Fax : 0555-72-6204

E-mail : soumu@yies.pref.yamanashi.jp

主催：(独)防災科学技術研究所・山梨県環境科学研究所

後援：特定非営利活動法人日本火山学会

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 10 月 9 日送信しました)

○日本地球惑星科学連合代議員選挙

日本火山学会会員の皆様

日本火山学会会長 石原和弘

日本地球惑星科学連合の代議員選挙の投票が 10 月 1 日より開始されました。

日本地球惑星科学連合の個人会員 (正会員) の中から選ばれた代議員 (社員) の方々は、セクションプレジデントならびに理事の被選挙者となるとともに、定時・臨時社員総会において、役員の選出、事業計画の承認、その他の連合の運営に関わる諸事項についての決議を、団体 (学協会) 会員とともに行なうこととなります。

日本火山学会員からも、運営や学術研究等、各分野で活躍されている方々が立候補あるいは推薦されています。

日本地球惑星科学連合において、日本火山学会からの意見を有効に反映させるためにも、忘れずご投票をしていただくようお願いします。

よろしく願いいたします。

(上記のお知らせは火山学会メーリングリストに 10 月 15 日送信しました)